

教材名 水カンリンバ	授業名 音楽
学部 中学部	
	
<p>ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 流れる水の音に、耳を澄ます。 ・ 音を集中して聴く。 ・ 流れる水の音を楽しむ。 	
<p>工夫した点</p> <p>スチール缶のジョイント部分の接着が非常に難しく、水漏れにならないように缶の種類を考えながら、何度もやり直しをした。接着剤の塗り方では、接着剤が盛り上がらないようにしたり、上からさらに塗り込んだりした。缶を切る時には円柱を真っ直ぐに切らないと、漏れの原因になるので特に注意した。缶の上の弦のような音の鳴る部分は、音の変化が大きくなるように、切る角度を考えながら切った。</p>	
<p>児童生徒の様子</p> <p>どのグループの生徒もまず音を聴いた瞬間、「どこからこの音が聞こえてるの?」と不思議そうに缶を全部隅々まで見たり、振ったり、自分で謎を解明しようとする行動が見られた。『缶の中がどうなっているかが分からない』ということが、かえって想像を膨らませ、好奇心をかき立てることができていたように思う。また、「水の音?」「ジュースの流れる音?」「お父さんのビールみたい!」「川の流れる音か?」「おしっこみたいや。」と、音が何かを言い当てようとしたり、感じたことをストレートに発言したりする生徒もいた。また、繰り返し聴く中で、みんなそれぞれに静かに音を聴くことができ、楽しんでいるのも共通の感覚であった。特に、普段動き回っていることの多い、多動傾向の自閉的な生徒が、立ち止まったり座ったりして、耳を澄ませて聴き、笑顔で楽しんでいる姿が印象的であった。</p>	
<p>その他(材料、作成費用、購入先など)</p> <p>100均で購入した物で作成した。</p>	